

## 「平成30年度 第2回県政モニターアンケート調査」 調査結果 (概要)

県政モニターの皆様に対して、県政運営の参考とするために下記のとおりアンケート調査を行いました。

### 1 調査方法

- (1) 調査地域 : 長野県全域
- (2) 調査対象者 : 県政モニター(県内在住の18歳以上の男女)  
1,257人(無作為抽出1,155人、公募102人)  
(現在の県政モニターは平成30年8月から登録)
- (3) 調査方法 : 郵送又はインターネット
- (4) 調査期間 : 平成30年12月26日(水)～平成31年1月9日(水)

### 2 調査の目的・内容

次の4項目について18問を設定

- (1) 信州ジビエについて  
信州ジビエの効果的な消費・PRの参考とするため、ジビエに関する意識等を調査
- (2) 人権に関する意識について  
効果的な人権施策の参考とするため、人権に関する意識を調査
- (3) 自殺対策について  
今後の自殺対策の参考とするため、対策の認知度等を調査
- (4) 県政の広報について  
県政広報を効果的に実施するため、県政広報に関する意識等を調査

### 3 回収状況

回収数 1,008人 (回収率 80.2%)

### 回答者の内訳

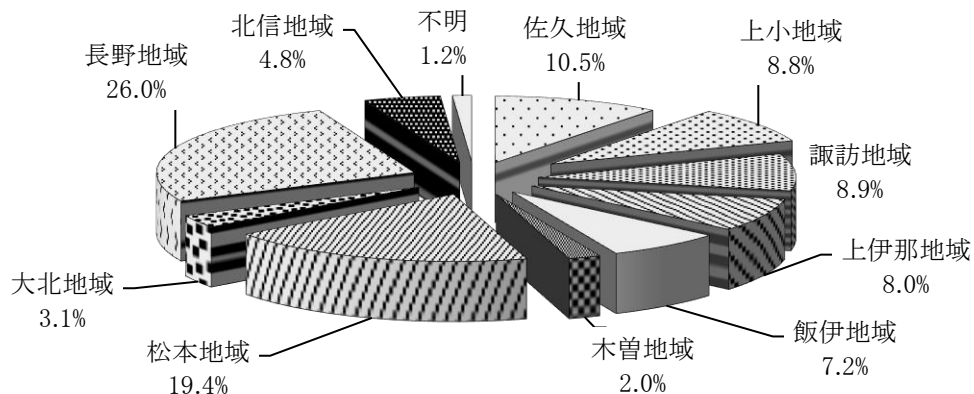
#### 【男女別と年代別】

	総数	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	不明
総数	1,008	6	46	65	153	189	273	264	12
	100.0%	0.6%	4.6%	6.4%	15.2%	18.8%	27.1%	26.2%	1.2%
男性	525	6	27	28	69	95	141	159	0
	52.1%	0.6%	2.7%	2.8%	6.8%	9.4%	14.0%	15.8%	-
女性	471	0	19	37	84	94	132	105	0
	46.7%	-	1.9%	3.7%	8.3%	9.3%	13.1%	10.4%	-
不明	12	-	-	-	-	-	-	-	12
	1.2%	-	-	-	-	-	-	-	1.2%

※ 割合(%)はすべて、総数(n=1,008)に対する割合

#### 【地域別】

	総数	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	長野	北信	不明
回答者数	1,008	106	89	90	81	73	20	196	31	262	48	12
	100.0%	10.5%	8.8%	8.9%	8.0%	7.2%	2.0%	19.4%	3.1%	26.0%	4.8%	1.2%



# 1 信州ジビエについて

## 問1 「ジビエ」という言葉の認知度

※( )内数値は、平成27年度第3回県政モニターアンケート調査数値

■「聞いたことがあり、意味も知っている」と「聞いたことがあり、意味も大体分かる」を合わせて9割超

① 「聞いたことがあり、意味も知っている」	63.0 % (53.4 %)
② 「聞いたこともあり、意味も大体分かる」	31.4 % (28.0 %)
③ 「聞いたことはあるが、意味は分らない」	3.9 % ( 8.4 %)
④ 「聞いたことはない」	1.7 % (10.0 %)
⑤ 無回答	0 % ( 0.1 %)

(単数回答)

## 問2 シカ肉を食べた経験

■シカ肉を食べた経験がある人は6割超

① 「1年以内に食べた」	17.3 % (18.2 %)
② 「1年以上前に食べた」	46.7 % (40.8 %)
③ 「食べたことがない」	36.0 % (40.7 %)

(単数回答)

## 問3 「ジビエ」を見聞きする機会

■「ジビエ」という言葉を見聞きする機会が増えたと感じている人が約8割

① 「増えてきた」	82.2 %
② 「変わらない」	16.9 %
③ 「減った」	0.7 %
④ 無回答	0.2 %

(単数回答)

## 問4 「ジビエ」を食べたい場所

■「県内のレストラン」が約5割、「県内の食堂」が4割超

① 「県内のレストラン」	50.9 %
② 「県内の食堂」	44.8 %
③ 「食のイベント等の催事」	41.9 %
④ 「県内の居酒屋」	41.6 %
⑤ 「県内のホテル・旅館」	40.6 %

(ほか複数回答)

## 問5 食に関する情報の収集先

■「雑誌・テレビ等の宣伝・広告」が6割弱、「雑誌・テレビの特集」が約5割

① 「雑誌・テレビ等の宣伝・広告」	56.6 %
② 「雑誌・テレビの特集」	51.8 %
③ 「チラシ等にまとめられた紙媒体の情報」	43.6 %
④ 「インターネット上などの口コミ」	40.7 %
⑤ 「SNS、ブログなどの情報」	23.0 %

(ほか複数回答)

## 2 人権に関する意識について

※( )内数値は、平成29年度第3回県政モニターアンケート調査数値

### 問6 人権を尊重する意識の定着度

■「日常生活において人権が尊重されていると思う」と「少しはそう思う」を合わせて約6割

① 「そう思う」	24.2 % (15.1 %)
② 「少しはそう思う」	35.6 % (35.2 %)
③ 「あまりそう思わない」	10.1 % ( 8.2 %)
④ 「そうは思わない」	1.2 % ( 1.8 %)
⑤ 「どちらともいえない」	23.8 % (36.1 %)
⑥ 無回答	5.1 % ( 3.6 %)

(単数回答)

### 問7 身の回りで起きている人権問題

■「障がい者に関すること」、「子どもに関すること」、「女性に関すること」がそれぞれ約4割

① 「障がい者に関すること」	42.0 % (39.7 %)
② 「子どもに関すること」	39.8 % (48.1 %)
③ 「女性に関すること」	38.3 % (41.6 %)
④ 「高齢者に関すること」	32.7 % (31.3 %)
⑤ 「プライバシーの保護に関する問題に関すること」	22.2 % (22.6 %)

(ほか複数回答)

(問7で「女性に関すること」と回答した方)

### 問8 女性に関する人権問題

■「男女の固定的な性別役割分担意識」が約7割、「セクシュアル・ハラスメント」が約6割

① 「男女の固定的な性別役割分担意識」	71.5 % (76.8 %)
② 「セクシュアル・ハラスメント」	62.4 % (63.3 %)
③ 「DV (ドメスティック・バイオレンス)」	46.4 % (48.4 %)
④ 「強制性交等の性暴力被害」	28.5 % (28.9 %)
⑤ 「その他」	7.5 % ( 6.4 %)

(複数回答)

(問7で「子どもに関すること」と回答した方)

### 問9 子どもに関する人権問題

■「いじめ」が9割弱、「虐待」が約7割

① 「いじめ」	86.3 % (91.8 %)
② 「虐待」	68.1 % (59.6 %)
③ 「体罰」	41.4 % (39.1 %)
④ 「子どもの性に着目した形態の営業や犯罪被害」	29.7 % (30.9 %)
⑤ 「強制性交等の性暴力被害」	20.4 % (20.3 %)

(ほか複数回答)

### 3 自殺対策について

#### 問10 県の自殺の現状に関する認識

■県の自殺の現状について「知っていた」が約5割

① 「知っていた」	48.0 %
② 「知らなかった」	51.1 %
③ 無回答	0.9 %

(単数回答)

#### 問11 自殺対策に関する相談先、役割の認知度

■「内容まで知っていた」または「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」と回答した割合は、「こころの健康相談統一ダイヤル」が約6割、「よりそいホットライン」が約3割、「ゲートキーパー」が2割弱

(こころの健康相談統一ダイヤル)

① 「内容まで知っていた」	17.3 %
② 「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」	44.6 %
③ 「知らなかった」	35.4 %
④ 無回答	2.7 %

(単数回答)

(よりそいホットライン)

① 「内容まで知っていた」	7.5 %
② 「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」	22.8 %
③ 「知らなかった」	61.5 %
④ 無回答	8.1 %

(単数回答)

(ゲートキーパー)

① 「内容まで知っていた」	7.6 %
② 「内容は知らなかったが、言葉は聞いたことがある」	9.2 %
③ 「知らなかった」	74.2 %
④ 無回答	8.9 %

(単数回答)

#### 問12 「ゲートキーパー」の果たす役割について普段から実施していること

■「相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する」、「声をかけて様子を聴く」など、ゲートキーパーの果たす役割の全部又は一部を実施している割合は約6割

① 「「元気がないように見えますが、どうしましたか。」「とても疲れているようですが、よく眠れていますか。」などと、声をかけて様子を聴く」	31.3 %
② 「相手の訴えに耳を傾け、気持ちを尊重し、共感する」	33.4 %
③ 「早めに相談機関や医療機関などの専門家に相談するよう促す」	17.7 %
④ 「心や身体の負担が減るよう配慮し、寄り添いながら見守る」	24.7 %
⑤ 「実施していることはない」	34.7 %
※ゲートキーパーの果たす役割の全部又は一部を実施	62.5 %

(複数回答)

### 問13 誰かに相談したり、助けを求めたりすることへのためらい

■「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせて5割弱

① 「そう思う」	12.5 %
② 「どちらかというと思う」	34.3 %
③ 「どちらかというとは思わない」	23.0 %
④ 「そうは思わない」	23.2 %
⑤ 「わからない」	5.8 %
⑥ 無回答	1.2 %

(単数回答)

(問13で「そう思う」または「どちらかというと思う」と回答した方)

### 問14 誰かに相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じる理由

■「相談しても変わらないから」が4割超、「周囲の目が気になるから」が3割超

① 「相談しても変わらないから」	46.0 %
② 「周囲の目が気になるから」	35.2 %
③ 「自分で解決できるから」	30.1 %
④ 「どこに相談すればいいのかわからないから」	23.1 %
⑤ 「近くに相談できる人がいない、または相談機関がないから」	13.1 %
⑥ 「かつて相談したことがあるが不快な思いをしたから」	7.8 %

(ほか複数回答)

## 4 県政の広報について

※( )内数値は、平成27年度第3回県政モニターアンケート調査数値

### 問15 県政に関する情報の入手方法

■「広報誌「広報ながのけん」(冊子)」が7割超、「新聞掲載「広報ながのけん」」が約4割

① 「広報誌「広報ながのけん」(冊子)」	75.3 % (83.4 %)
② 「新聞掲載「広報ながのけん」」	41.2 % (53.0 %)
③ 「テレビ番組」	24.6 %
④ 「県公式ホームページ、県関連ホームページ」	19.9 % (19.9 %)
⑤ 「県が行う広報以外の方法(マス・メディアのニュースなど)」	17.5 %

(ほか複数回答)

### 問16 県からの情報発信について

■「十分である」、「十分でない」とともに4割超

① 「十分である」	44.7 % (55.4 %)
② 「十分でない」	44.7 % (38.2 %)
③ 無回答	10.5 % (6.4 %)

(単数回答)

## 問17 今後充実させてほしい県広報の分野

■「災害・防災」が約7割、「健康・医療」が約5割

① 「災害・防災」	68.4 %
② 「健康・医療」	50.7 %
③ 「福祉」	39.4 %
④ 「観光」	30.0 %
⑤ 「公共交通・道路」	27.0 %

(ほか複数回答)

## 問18 県公式ホームページの使いやすさ

■「使いやすい」が約8割、「使いにくい」が約2割

① 「使いやすい」	78.3 %
② 「使いにくい」	21.7 %

(単数回答)